

インターハイ中部地区予選を戦って ～2年間の集大成～



対静岡東高校戦の結果が告げられている場面
強豪校の静岡東を相手に善戦したが全敗した。

去る令和七年四月二十七日(日)・五月三日(土)および四日(日)に、静岡県武道館やこのはなアリーナを会場にして、右記の大会が開催された。二十七日はダブルス、三日はシングルス、四日は学校対抗の部(団体戦)の順で試合は進められた。記者(向島)は団体戦を観戦した。特に三年生にとっては、高校二年間の部活動の集大成ともなる最後の大会である。以下、試合の主な結果と三年生の声をあげてみた。

令和七年度静岡県高等学校総合体育大会卓球競技中部地区予選会開催

大会の様子・藤枝北高校の主な戦績

○5月3日(土)シングルの結果

大石侑駕(2年)がベスト64に進出

↳ 県大会決定戦で静岡市立高校とあたり敗退

木村優花(2年)がベスト64に進出

↳ 県大会決定戦で駿河総合高校とあたり敗退

○5月4日(日)団体戦

【男子団体】 ベスト16に進出

一試合目 焼津高校に 3-2 で勝利

二試合目 静岡東高校に 0-3 で敗退

三試合目(県大会決定戦)では、

焼津中央高校に 1-3 で敗退

※勝てば県大会出場のチャンスがあったが惜敗

【女子団体】

一試合目 清水桜が丘高校に 1-3 で敗退

団体戦は、

1S・2S・3D・4S・5S の順で試合が進行。

※Sはシングルス。Dはダブルス。数字は試合順
本校の主なオーダーは、

【男子団体】(対静岡東戦)

1S 八木瞭太郎(3年) 2S 渡辺聖琉(3年)

3D 古橋翔平(3年)・鯨岡頼輝(3年)

4S 鈴木喜生(2年) 5S 小林祐貴(2年)

※なお、秋山武琉(2年)、大石侑駕(2年)も
対焼津高校戦、対焼津中央高校戦で出場した。

【女子団体】

1S 荒井悠月(2年) 2S 木村優花(2年)

3D 木村優花・常泉來那(2年)

4S 常泉來那 5S 鈴木喜愛(2年)

【参加した3年生の声】

鈴木僚真(部長): この2年間あっという間だったなと感じました。色んなことがあったけどみんな個性が強く元気でユーモアあふれていたのが楽しかったです。部長になり不安でしたが、複数の人をまとめるなど中々できない経験ができて良かったです。良い思い出になりました。

ボールを打ち返す八木(シングルス) ▶





▼古橋・鯨岡ペア（ダブルス）

八木瞭太郎（副部長）：この2年を振り返るといろいろな思い出が蘇ってきます。最初はこのメンバーでやっていけるか不安だったけれど、今ではこのメンバーしか考えられないです。僕は副部長で皆に指示を出すことがよくあったのでよく緊張してたのも良い思い出です。この2年は部活のおかげで良い思い出になりました。

鯨岡頼輝：約2年間の部活での生活は自分にとってとても良いものになりました。それぞれ個性をもったメンバー達と技術を高め合っていくのは学校を楽

しむためのモチベーションにもなり、大会での成績は自信にもつながりました。

シングルの渡辺▼

鈴木喜生：私はこの三年間卓球部に所属していました。

三年間仲間達とずっと練習をし、高め合い、仲を深めたことができるとても楽しかったです。うまくいかない時は教えてくれたり、大会ではアドバイスをくれたりと、とてもよいメンバーと過ごせた事を嬉しく思います。

古橋翔平：約2年くらいの部活動は、とても楽しかったです。

初期の頃は、みんなとうまくコミュニケーションをとれるか不安でした。でもやってくうちにみんなと仲が深まりとてもいい雰囲気になりました。目標だった県大会は行けなかったけどこのメンバーでやれて良かったです。

渡辺聖琉：私は高校から卓球を始めてそのままエンジョイのまま過ごしました。最初は何もできなかったけれど、徐々に強くなっていくのを感じることが出来る時は楽しかったです。そして仲間達と過ごしたこの2年間はとても充実して思い出に残る出来事でした。



頑張れ！
藤枝北高校卓球部！